



2013年5月28日
鉄道友の会

鉄道友の会 選定

2013年ブルーリボン賞決定

■ ブルーリボン賞 東京地下鉄 1000系

鉄道友の会(会長 須田 寛、会員約3,300名)は、会員の投票結果をもとにして選考委員会が優秀と認めた東京地下鉄1000系を、2013年のブルーリボン賞に選定しました。

賞の趣旨、選定車両の解説・選定理由などは別紙をご覧ください。

なお、2013年はローレル賞に選定された車両はありません。



ブルーリボン賞 東京地下鉄 1000系

東京地下鉄 1000系

- ・ 55年にわたるブルーリボン賞で初の地下鉄車両を選定
- ・ 1000系以降に登場した東京メトロラインナップの集大成
- ・ 操舵台車を採用し、走行安定性の向上と騒音低減を実現

東京地下鉄1000系は、2012年4月から銀座線01系の後継車両として営業運転を始めています。

銀座線の車両には、1927年の開業以来、急曲線が連続するトンネルの中という厳しい条件でも安全に運転ができるように、その時代の最新の技術を取り入れた車両が使用されてきました。

急曲線が多い銀座線での走行性能向上策については、今までにも順次実施されてきましたが、今回製作された1000系は、走行性能のさらなる向上と振動・走行音などの低減に効果が大きい、操舵台車を採用したことが最大の特徴です。

この台車は、曲線走行時に台車と車体間で生じる変位量に応じて操舵装置（リンク機構）によって輪軸が自動的に舵を切る仕組みとなっており、自動車がカーブに沿ってハンドルを切るのと同じ様に、曲線をスムーズに走行することが可能になり、さらに、曲線走行時の振動・走行音も低減して、乗り心地が向上しました。

「リンク式片軸操舵台車」と呼ばれるこの台車の開発にあたっては、試作台車を車両に取り付けて試験を重ね、その結果、全ての輪軸に操舵装置を付けるのではなく、車両1両に2つある台車のそれぞれの2つの輪軸のうち1つを非駆動の操舵輪軸とし、もう一方の輪軸は非操舵の駆動軸とする片軸操舵の方式でも、優れた曲線走行性能を発揮することが確認され、今回1000系に採用されました。

操舵台車としては比較的簡単な構造であるためメンテナンス性は良好です。しかし、駆動軸にはユニットブレーキ、非駆動軸にはディスクブレーキと、1つの台車に異なるブレーキ装置が混在しているため、ブレーキ力制御が複雑になりますが、新技術を用いて編成全体のブレーキ力を演算制御することで、所定のブレーキ力を得るとともに電力回生ブレーキの有効活用による省エネを図りました。このほかの省エネ対策として、駆動モータには効率の高い永久磁石同期電動機を、前部標識灯と車内照明にLEDを採用しました。

一方、車体外観は銀座線開業当時の1000形を思わせるレトロ調で、これは、アルミニウム合金製の車体にラッピングフィルムで開業当時の1000形のカラーを再現したものです。

また、やや小型な銀座線の車両ながら、明るく開放的な客室になるように、天井構造を見直すとともにクーラーを薄型にして極力天井を高くしたほか、貫通扉や座席横の仕切り、荷棚に強化ガラスを用いるなどの工夫を凝らしてあります。

鉄道友の会は、日本で最初の地下鉄である銀座線特有の厳しい走行環境に対して、走行性能及び快適性を新技術により向上させ、併せて省エネ性も高め、さらに外観は開業時代に在籍した車両を彷彿とさせるものであることなどを高く評価し、東京地下鉄1000系を2013年のブルーリボン賞に選定しました。

なお、ブルーリボン賞に地下鉄車両が選ばれたのは、今回が初めてです。

ブルーリボン賞・ローレル賞とは

鉄道友の会が毎年1回、前年中に営業運転に就いた車両の中から、新車および新車と見なせる車両（改造車等）の中から選定している賞です。

両賞の趣旨や選考方法は以下の通りです。



ブルーリボン賞（1958年制定）

会員による投票をもとに、ブルーリボン賞・ローレル賞選考委員会が優秀と認めた車両を選定します。



ローレル賞（1961年制定）

性能・デザイン・製造企画・運用などの諸点に卓越したものと、ブルーリボン賞・ローレル賞選考委員会が認めた車両を選定します。

ブルーリボン賞・ローレル賞選考委員会

鉄道車両に精通するベテランの鉄道友の会会員(10名)で構成しています。

前年中に営業運転に就いた車両の中から、新車および新車と見なせる車両（改造車等）をノミネートし、それらを対象に両賞の選考を行います。

なお、今年のノミネート車両は、ブルーリボン賞7車種、ローレル賞26車種でした。

添付資料一覧（併せてご覧ください）

- ・ 過去のブルーリボン賞・ローレル賞選定車両一覧
- ・ 鉄道友の会のご紹介

本件につきましてのお問い合わせは下記宛にお願いいたします。

〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-7-16
第五DMJビル3階
鉄道友の会（本部事務局）
担当 大庭

TEL & FAX 03-5215-0305
URL <http://www.jrc.gr.jp/>